

[漢-1], [総-11] 現行の当用漢字音訓表について
 検討すべき問題点の一例

現行 (方針・注意事 項など)	例	説明
1 異字同訓の整理	みる……………見 おもう……………思 みち……………道	看・視・診・閲・覧・観などには「みる」の訓は認められていない。 想・念・懐・憶などには「おもう」の訓は認められていない。 路・徑・途などには「みち」の訓は認められていない。 [例外] くら……………倉・蔵 つくる……………作・造 はかる……………測・計・量・図 など。
2 同字異訓の整理	主……………ぬし 入……………いる 戦……………たたかう	「あるじ・おもに」は認められていない。 「はいる」は認められていない。 「いくさ・おののく・そよぐ」は認められていない。
3 かな書きにすべき語に用いる訓の整理	副詞……………先 接続詞……………併 助動詞……………如 助詞……………程	「さき」を認め、「まず」は認められていない。 「しかし」は認められていない。 「ごとき」は認められていない。 「ほど」は認められていない。 [例外] 再…ふたたび, 全…まったく 最…もっとも, 必…かならず など。
4 古訓・解釈訓の整理	朝 集 治	「あさ」を認め、「あした」は認められていない。 「あつまる」を認め、「つどう」は認められていない。 「おさめる」を認め、「なおる」は認められていない。

現 (方針・注意事 項など)	行	例	説 明
5 熟字訓の整理	危		「あやうい」を認め、「あぶない」は認められていない。
	魚		「うお」を認め、「さかな」は認められていない。
	明日 …… あす		音訓表の〔使用上の注意事項〕には、「つぎのような熟字は、使ってさしつかえない。」として、
	海女 …… あま		木(き) → 木立(こだち)
	田舎 …… いなか		目(め) → 目深(まぶか)
	大人 …… おとな		金(かね) → 金物(かなもの)
	昨日 …… きのう		雨(あめ) → 雨戸(あまど) 春雨(はるさめ)
	五月雨 …… さみだれ		何(なに) → 何時(なんどき)
	煙草 …… たばこ		十(ジュウ) → 十銭(ジッセン)
	梅雨 …… つゆ		合(ゴウ) → 合併(ガッペイ)
	二十 …… はたち		皇(オウ) → 天皇(テンノウ)
	土産 …… みやげ		寸(スン) → 三寸(サンズン)
	などの使い方は認められていない。		発(ハツ) → 出発(シュツパツ)
			夫(フ) → 夫婦(フウフ)
			<p>の例が掲げられている。</p> <hr/> <p>次のような熟字は使えるのか使えないのか、解釈にゆれがある。</p> <p>海原 → うなばら 交代 → こうたい 街道 → かいどう 祝言 → しゅうげん 合戦 → かつせん 時計 → とけい 句読点 → くと_{てん} 端数 → はすう 景色 → けしき 真赤 → まっか</p>